

## 令和5年度 公民科 「公共」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組
教科書	詳述 公共（実教出版）	副教材等	ズームアップ公共資料（実教出版）

## 1 学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	第4章 民主国家における基本原理	人権保障の発展と民主政治の成立 国民主権と民主政治の発展	・古代ギリシアからはじまる、民主政治の歴史的な展開を理解する。 ・基本的人権の歴史的発展について理解する。	定期考査 課題提出
	5				
	6				
		第5章 国際政治の動向と課題	国際社会における政治と法 国家安全保障と国際連合	・国際社会には世界政府のような存在がないため、国際社会においては各国の力関係がものをいうパワーポリティクスに陥りやすいことを理解する ・国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず、そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることを理解する。	
			第1回考査		
	7		冷戦終結後の国際政治 軍備競争と軍備縮小	・冷戦期以降の国際政治情勢について、対立する主体に注目して理解する。 ・大国のナショナリズムによって新たな対立が生じている現状を理解する。	
	8		異なる人種・民族との共存 国際平和と日本	・人種・民族問題は過去のものではなく、現実の課題として残っていることを具体的な事例から理解する。 ・日本の戦後外交について、外交の三原則に基づいて進められてきたことを理解する。 ・ODAやPKOなどの国際貢献活動について、広く理解する	
	9		日本の政治機構と政治参加	・議院内閣制のしくみや内閣の権限について理解する。	
				第2回考査	
	第3章 社会とは何か	日本の政治機構と政治参加 人権保障と裁判所	・官主導社会の特徴と課題、その転換に向けたさまざまな改革について理解する。 ・司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解する。		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10		人権保障と裁判所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違憲審査権について理解している。</li> <li>・裁判員制度や検察審査会の意義と役割について理解している。</li> </ul>	定期考査 課題提出
	11		地方自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治の本旨である、団体自治と住民自治について理解する。</li> <li>・自治基本条例の制定や自治立法、住民投票などの新しい地方自治の動きについて理解する。</li> <li>・戦後の地方自治の課題や地方分権改革について理解する。</li> <li>・地方自治の政治・経済的な課題や都市と地方の格差の課題、それらへの対策としておこなわれたさまざまな改革について理解する</li> </ul>	
	12		第3回考査		
	1	第1章 社会を作る私たち	生涯における青年期の意義	・青年期の意義と特徴について理解する。	
			青年期と自己形成の課題	・葛藤や欲求不満とその対処法、パーソナリティの理論や青年期の発達課題について理解する。	
			現代社会と現代の生き方	・日本人の伝統的な考え方と人間関係の特徴について理解する。	
	2	第2章 人間としてよく生きる	ギリシアの思想	・ソクラテスが唱えた、「よく生きる」ことが何であるかを理解する。	
			宗教の教え	・人間の幸福な生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの考え方を理解する。	
			人間の尊重	・宗教が人間の生き方や社会のあり方にどのような影響を与えているかを理解する。	
	3		公正な社会	・三大世界宗教のそれぞれの教えの特徴を通じて、人間の生き方や社会のあり方をどのように説いているのかを理解する。	
			第4回考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

### 4 評価の方法

定期考査においては、知識・技能を問う問題、思考・判断・表現を問う問題をそれぞれ出題し、評価を行う。  
課題提出により、思考・判断・表現を評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

政治学、哲学、経済学と様々な分野を学ぶのが公共です。政治学と哲学を多く扱っていく予定です。細かい用語も覚える必要がありますが、実生活に即した学問です。ICTの取り扱いもありますので、準備をしておいてください。  
時間厳守で開始できるようにしてください。